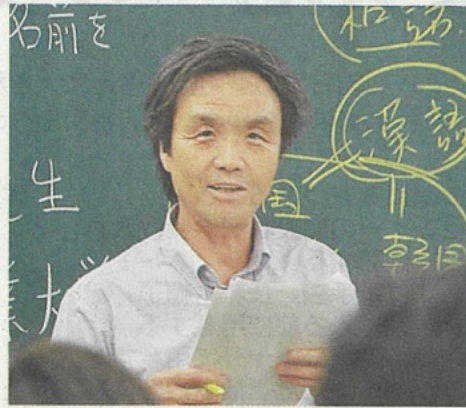


## 「ハンゲルに親しんで」 拉致被害者・蓮池薫さん



韓国語の授業をする蓮池薫さん＝富山市新桜町

### 第一学院高で韓国語の授業

北朝鮮による拉致被害者で新潟産業大学准教授の蓮池薫さん(60)が17日、第一学院高校富山キャンパス(富山市新桜町)で出前授業「ハンゲルで自分の名前を書いてみよう」を行った。蓮池さんは「大学の授

業の雰囲気味わってもらい、高校で触れる機会の少ないハンゲルに親しんでもらえたら」と話した。蓮池さんは、韓国語の成立の背景や、日本語と韓国語は語順が同じであること、外来語由来の単語の発

音がよく似ていることなどを紹介。さらに、ハンゲルは母音と子音の組み合わせで文字ができることを説明し、生徒に自分の名前を書いてもらった。

授業の最後に生徒の一人が「北朝鮮はこれからどうなるのか」と質問。蓮池さんは「アメリカの言うとおりに核放棄すれば、中国の支援を受けて経済発展ができるだろう」と答えた。

(吉田真梨)